

令和8年度 福島県総合計画進行管理

1 福島県総合計画の進行管理について

2 令和7年度 政策分野別基本指標の達成度 【概要】

3 令和7年度 政策分野別主要施策評価調査 (18政策)

福島県総合計画の進捗管理について

(1) 目的

「福島県総合計画の進捗管理に関する要綱」に基づき、総合計画に掲げる将来の姿を実現させるため、「進捗管理調書」による事業の分析を徹底し、次年度以降の取組がより効果的・効率的なものとなるよう、全庁を挙げて取り組みます。

(2) 進捗管理の内容

県は、県政運営において説明責任を持っており、総合計画について県民の皆さんと共有しているものは、政策、施策、主な取組、指標、毎年度の重点事業であり、この共有しているものをベースにPDCAマネジメントサイクルのC(チェック:評価)を土台に明確な方向付けであるA(アクション:改善)を県民の皆さんにお示しします。

18ある政策毎に、政策、施策(指標)、施策(主な取組)の流れで分析、評価を行い、次年度以降の事業構築に効果的に活用します。

(3) 令和8年度の進捗管理の予定

時期	主な内容
1月～7月	施策の自己点検 進捗管理調書による指標分析等(＝目標達成状況)を元に、次年度以降の方向性、課題を各課室・各部局が精査
6月～	【地域懇談会(7方部)】 地域の代表者と意見交換し、地域の現状や課題を把握 【テーマ】 ① 地域の課題や取組の方向性等について
8月7日(金)	1 総合計画審議会(第1回) ・R7年度実績を元に施策評価を実施。審議会委員が施策の課題や方向性について審議。
9月	2 総合計画審議会会長から知事へ意見具申 ・総合計画審議会から知事へ意見具申。県の施策に反映すべき内容を意見としてまとめて知事に提言。
10月	3 総合計画審議会からの意見に対する県の対応方針 決定 ・新生ふくしま復興推進本部会議開催。・総合計画審議会の意見に対する県の対応方針を決定。
9月～10月	4 令和8年度 期中評価 ・R8上半期の進捗管理調書を作成・とりまとめ。R9事業構築に反映。
2月	5 令和9年度 当初予算(案) ・対応方針を踏まえ、次年度の当初予算(重点事業等)を編成。
2月	6 総合計画審議会(第2回) ・復興計画案、総合計画審議会からの意見に対する県の対応方針に基づく施策への反映状況について審議。

1 福島県総合計画の進行管理について

2 令和7年度 政策分野別基本指標の達成度 【概要】

3 令和7年度 政策分野別主要施策評価調書
(18政策)

2 令和7年度 政策分野別 基本指標の達成度【概要】

■ **政策**に紐付く基本指標のうち、令和7年度の数値が公表されている15指標のうち、4指標において目標を達成した。また、令和7年度の数値が未確定である指標13指標についても、数値の動向予測を踏まえた分析により評価を実施し、合計28指標のうち、9指標について目標を達成又は達成見込みとなった。

ひと分野 達成状況 1/6（見込み含む）

【達成】

- 地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合(高等学校) 100%(目標値:90%)

【未達成】

- 福島県で子育てを行いたいと回答した県民の割合(意識調査) 59.5%(目標値:74.9%)
- 日頃、人と人の支え合いや絆を実感していると回答した県民の割合(意識調査) 59.5%(目標値:72.7%)
- 人口の社会増減 △7,617人(目標値:△3,486人)

【未達成見込み】

- 健康寿命(男性) (目標値:74.15歳)
- 健康寿命(女性) (目標値:76.85歳)

暮らし分野 達成状況 3/11（見込み含む）

【達成】

- 本県の震災・原発事故からの復興・再生が進んでいると回答した県民の割合(意識調査) 56.8%(目標値:54.6%)
- 土砂災害から保全される人家戸数 16,379戸(目標値:16,305戸)
- 犯罪発生件数(刑法犯認知件数) 8,674件(目標値:前年比減少を目指す(R6 8,844件))

【未達成】

- 本県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると回答した県民の割合(意識調査) 49.3%(目標値:66.2%)
- 自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと回答した県民の割合(意識調査) 85.9%(目標値:90.0%)
- 文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していると回答した県民の割合(鑑賞を含む)(意識調査) 31.2%(目標値:40.9%)

【未達成見込み】

- 医療施設従事医師数(全県) (目標値:4,178人)
- 医療施設従事医師数(相双医療圏) (目標値:208人)
- 就業看護職員数(全県) (目標値:25,586人)
- 就業看護職員数(相双医療圏) (目標値:1,546人)
- 介護職員数 (目標値:35,078人)

しごと分野 達成状況 5/11（見込み含む）

【達成見込み】

- 製造品出荷額等(目標値:53,483億円)
- 農業産出額(目標値:2,226億円)
- 林業産出額(目標値:131億円)
- 県産農産物価格の回復状況(米)(再掲)(目標値:100%)
- 再生可能エネルギー導入量(目標値:61.5%)

【未達成】

- 沿岸漁業生産額(再掲) 44億円(目標値:45億円)
- 県産農産物価格の回復状況(もも)(再掲) 87.96%(目標値:100%)
- 県産農産物価格の回復状況(牛肉)(再掲) 96.91%(目標値:100%)
- 安定的な雇用者数(雇用保険の被保険者数) 547,555人(目標値:581,000人)
- 七つの地域の主要都市間の平均所要時間 85分(目標値:84分)

【未達成見込み】

- 観光客入込数(再掲)(目標値:59,300千人)

※ 年度毎の目標値を設定していない4指標については評価の対象外としています。

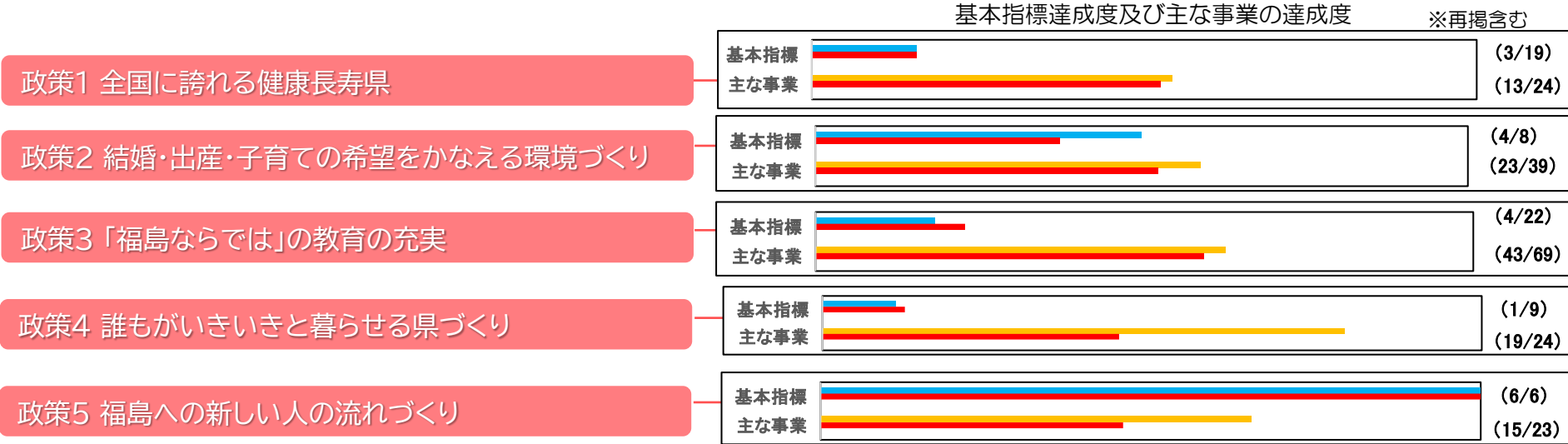
なお、全ての指標において、「現状分析・今後の見通し」「今後の課題」「今後の方針」に関する分析等を実施しています。

(資料1-3 政策に紐付く指標(34指標)、参考資料3 政策分野別主要施策に掲げる指標一覧(全279指標) 参照)

基本指標の達成度（ひと分野）

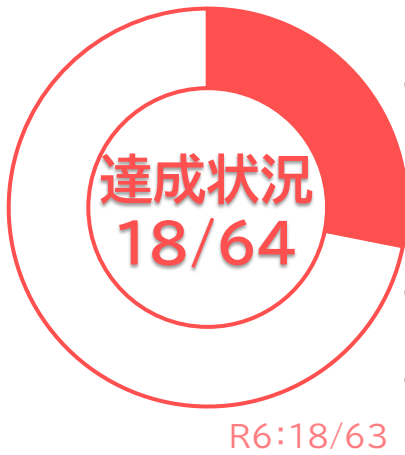
■ 施策に紐付く基本指標 64指標のうち、18指標において目標を達成(見込み含む)した。

※ 令和8年8月時点



（棒グラフに重なる赤い色の棒グラフは前年度の割合を示す）

主な基本指標(施策)



R6:18/63

達成（見込み含む）

- 歯の健康(6歳で永久歯むし歯のない者の割合)
最新値:98.4%(R7) 目標値:97.0%以上(R7)
- 周産期死亡率
最新値:3.7%(R4~6平均) 目標値:3.5%(R7)
- 男性の育児休業の取得率(民間(事業所規模30人以上))
最新値:55.2%(R7) 目標値:50.4%(R7)
- 移住を見据えた関係人口創出数
最新値:7,046人(R7) 目標値:5,580人(R7)
- 移住者数
最新値:4,033人(R7) 目標値:3,429人(R7) etc

未達成（見込み含む）

- メタリックシンドローム該当者及び予備群の割合(特定健康診査受診者)
最新値:32.2%(R5) 目標値:25.6%(R7)
- がん検診受診率(大腸がん)
最新値:30.0%(R6) 目標値:60.0%以上(R7)
- 合計特殊出生率
最新値:1.14(R7) 目標値:1.25(R7)
- ふくしま学力調査の結果の経年比較により、学力が伸びた生徒の割合(小・中学校)(小学校 国語)
最新値:56.4%(R7) 目標値:100%(R7)
- 地域において、女性の社会参加が進んでいると回答した県民の割合(意識調査)
最新値:27.3%(R7) 目標値:44.0%(R7)
- 「福島県は外国人にとって暮らしやすい」と回答した外国人住民の割合(意識調査)
最新値:69.2%(R7) 目標値:75.0%(R7) 6 etc

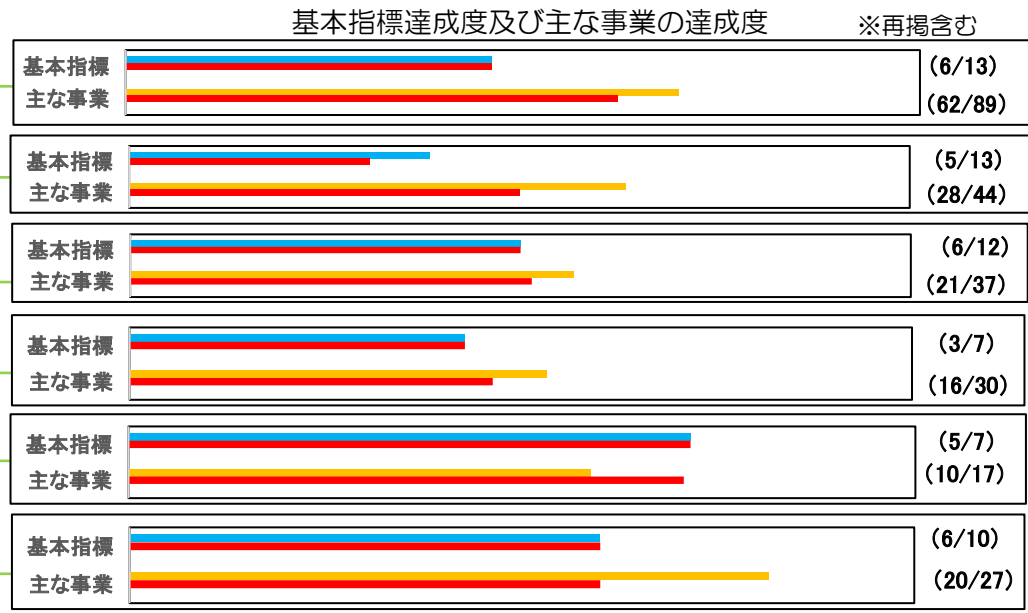
※目標値の設定なし、判定不可の指標を除く。

基本指標の達成度（暮らし分野）

■ **施策**に紐付く基本指標 62指標のうち、31指標において目標を達成(見込み含む)した。

※ 令和8年8月時点

- 政策1 東日本大震災・原子力災害からの復興・再生
- 政策2 災害に強く治安が確保されている安全・安心な県づくり
- 政策3 安心の医療、介護・福祉提供体制の整備
- 政策4 環境と調和・共生する県づくり
- 政策5 過疎・中山間地域の持続的な発展
- 政策6 ふれあいと親しみのある魅力あふれる県づくり



（棒グラフに重なる赤い色の棒グラフは前年度の割合を示す）



達成（見込み含む）

- 双葉郡の商工会会員事業所の事業再開状況
最新値:91.6%(R7) 目標値:87.0%(R7)
- ふくしまHACCPの導入状況
最新値:62.2%(R7) 目標値:62.2%(R7)
- 認定看護師(感染管理)数
最新値:67人(R7) 目標値:47人(R7)
- 産業廃棄物の排出量
最新値:6,747千トン(R6) 目標値:7,700千トン以下(R7)
- 地域おこし協力隊定住率
最新値:68.7%(R7) 目標値:66.5%(R7)
- 県立美術館の入館者数
最新値:433,307人(R7) 目標値:100,000人(R7)
- プロスポーツチームのホーム公式戦平均入場者数
最新値:13,017人(R7) 目標値:9,841人(R7)
- etc

未達成（見込み含む）

- 県産農産物価格の回復状況(もも)
最新値:87.96%(R7) 目標値:100%(R7)
- 自主防災組織活動力カバー率
最新値:73.1%(R7) 目標値:82.6%(R7)
- 交通事故傷者数
最新値:4,219人(R7) 目標値:3,200人(R7)
- 自然公園の利用者数
最新値:10,161千人(R6) 目標値:10,640千人(R7)
- 一般廃棄物の排出量(1人1日当たり)
最新値:953g/日(R6) 目標値:939g/日(R7)
- 一般廃棄物のリサイクル率
最新値:13.5%(R6) 目標値:15.5%(R7)
- 県立博物館の入場者数
最新値:97,021人(R7) 目標値:129,000人(R7)
- etc

基本指標の達成度（しごと分野）

■ **施策**に紐付く基本指標 43指標のうち、20指標において目標を達成(見込み含む)した。 ※ 令和8年8月時点

基本指標達成度及び主な事業の達成度 ※再掲含む

政策1 地域産業の持続的発展	基本指標 主な事業		(3/8) (21/27)
政策2 福島イノベーション・コースト構想の推進	基本指標 主な事業		(5/8) (14/20)
政策3 もうかる農林水産業の実現	基本指標 主な事業		(5/7) (37/61)
政策4 再生可能エネルギー先駆けの地の実現	基本指標 主な事業		(1/3) (7/14)
政策5 魅力を最大限いかした観光・交流の促進	基本指標 主な事業		(3/6) (19/27)
政策6 福島の産業を支える人材の確保・育成	基本指標 主な事業		(2/5) (16/27)
政策7 地域を結ぶ社会基盤の整備促進	基本指標 主な事業		(1/6) (2/8)

(棒グラフに重なる赤い色の棒グラフは前年度を割合を示す)

主な基本指標(施策)



達成（見込み含む）

- 県産品輸出額
最新値:1,585百万円(R6) 目標値:1,502百万円(R7)
- メードインふくしまロボットの件数
最新値:75件(R7) 目標値:72件(R7)
- 新規就農者数
最新値:391人(R7) 目標値:375人(R7)
- スマート農業技術等導入経営体数
最新値:1,255経営体(R7) 目標値:1,195経営体(R7)
- 再生可能エネルギー・水素関連産業の成約件数
最新値:323件(R7) 目標値:315件(R7)
- 外国人宿泊者数(再掲)
最新値:325,210人泊(R7) 目標値:319,000人泊(R7)
- 福島県次世代育成支援企業認証数
最新値:1,453件(R7) 目標値:1,232件(R7)

未達成（見込み含む）

- 開業率
最新値:2.7%(R7) 目標値:4.6%(R7)
- 浜通り地域等での起業による事業化件数
最新値:21件(R7) 目標値:43件(R7)
- 第三者認証GAP等を取得した経営体数
最新値:787経営体(R7) 目標値:1,250経営体(R7)
- 再生可能エネルギー・水素関連研究実施件数
最新値:927件(R6) 目標値:1,085件(R7)
- 県内宿泊者数
最新値:9,599千人泊(R7) 目標値:13,000千人泊(R7)
- 新規大学等卒業者の県内就職率(再掲)
最新値:46.9%(R7) 目標値:55.5%(R7)
- 30分以内にインターチェンジにアクセスできる市町村数
最新値: 51市町村(R7) 目標値:53市町村(R7)

etc 8 etc

1 福島県総合計画の進行管理について

2 令和7年度 政策分野別基本指標の達成度
【概要】

**3 令和7年度 政策分野別主要施策評価調書
(18政策)**

基本指標（成果指標）

・政策の基本指標は、施策を進めたトータルでしか動かない前提。
・施策の全体を見て、基本指標にどのような影響を及ぼしたかを記載。

健康寿命		基準値 (H28年度)	前年 (R元年度)	最新値 (R4年度)※	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	全体評価
	▶男性	71.54歳	72.28歳	71.89歳	74.15歳	75.60歳	
	▶女性	75.05歳	75.37歳	74.74歳	76.85歳	77.85歳	

※ 実績値は3年に1回公表。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
3/19
前年度 3/19

※ 見込みを含む

- <達成(見込み含む)した基本指標>
- 歯の健康▶80歳で自分の歯を20歯以上有する者の割合 最新値:63.9%(R6) 目標値:63.0%以上(R7)
 - 歯の健康▶6歳で永久歯むし歯のない者の割合 最新値:98.4%(R7) 目標値:97.0%以上(R7)
 - 歯の健康▶12歳でむし歯のない者の割合 最新値:70.4%(R7) 目標値:68.5%以上(R7)

・各施策毎の「基本指標」の達成度及び「主な事業」の達成度を積み上げ結果を記載。
(政策分野別 基本指標の達成度【概要】の棒グラフの元データ)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
13/24
前年度 11/21

- ふくしま脱メタボプロジェクト事業【達成】 適正体重キャンペーンの参加者数 13,934人【決算額】1億7,636万円
- ふくしまおいしく減塩緊急対策事業【達成】 減塩推進ネットワーク会議(減塩アクションプロジェクト)参画企業数 22社【決算額】5,817万円
- たばこの健康影響対策事業【未達成】 空気のきれいな施設・車両認証数 施設2,986、車両1,016件【決算額】566万円
- 健康経営トータルサポート事業【未達成】 健康経営に取り組む事業所の増加数 320社【決算額】4,381万円 etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

・各施策毎にまとめた紐づく指標と事業の達成度、事業の一部を記載。

施策1 若い世代から高齢者までライフステージに応じた疾病予防

基本指標の達成度 3/14

事業の達成度 2/7

紐づく事業:たばこの健康影響対策事業、ふくしまおいしく減塩緊急対策事業 など

施策2 食、運動、社会参加による健康づくり

基本指標の達成度 0/4

事業の達成度 8/11

紐づく事業:ふくしま脱メタボプロジェクト事業、健康経営トータルサポート事業 など

施策3 高齢者の介護予防の強化

基本指標の達成度 0/1

事業の達成度 2/4

紐づく事業:老人クラブ活動等社会活動促進事業、女性のための骨粗鬆症重症化予防事業 など

施策4 東日本大震災・原子力災害の影響を踏まえた健康づくり

事業の達成度 1/2

紐づく事業:被災者健康サポート事業 など

達成度を踏まえた課題分析

・指標と事業の達成度を踏まえた政策全体の課題と今後の方向性を記載。

健康指標(メタボ、肥満、喫煙率など)の悪化が共通課題として挙げられており、これらの改善には時間を要することから、引き続き、無関心層を含む個人への効果的なアプローチと行動変容の促進が重要である。

市町村・企業・医療機関等との連携強化や、健康経営の普及拡大、食環境整備(減塩)等に引き続き取り組むとともに、データを活用した科学的根拠に基づく保健事業を展開し、地域・職域が一体となったオールふくしまでの取組推進を進めていく。

<参考> アウトプット指標と基本指標の関係性 (アウトプット:事業の実施によって直接的に生み出された結果 アウトカム:アウトプットによって実現する社会の状況・変化)

事業の実施 活動実績 事業の成果 施策の効果 政策の実現

事業 アウトプット (アウトカム) 基本指標 将来の姿

事業は基本指標を達成するための手段であり、アウトプット指標はその活動指標であり、基本指標はその成果指標である。アウトプット指標の動向により、基本指標へ影響を与えていくことを意識して事業に取り組むこととしている。

ひと分野 政策1 全国に誇れる健康長寿県へ

基本指標（成果指標）

健康寿命		基準値 (H28年度)	前年 (R元年度)	最新値 (R4年度)※	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
	▶男性	71.54歳	72.28歳	71.89歳	74.15歳	75.60歳	メタボリックシンドローム該当者割合は目標を大幅に上回り、喫煙率や肥満傾向児出現率も全国ワースト水準が継続している。一方、歯科保健やがん患者支援など一部事業では指標改善が見られた。健康づくりの成果が健康寿命に反映されるまでには長期間を要することから、現時点では基本指標への十分なプラス影響は確認しにくく、継続的な取組強化が不可欠な状況にある。
	▶女性	75.05歳	75.37歳	74.74歳	76.85歳	77.85歳	

※ 実績値は3年に1回公表。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
3/19
前年度 3/19

※ 見込みを含む

<達成(見込み含む)した基本指標>

- 歯の健康▶80歳で自分の歯を20歯以上有する者の割合 最新値:63.9%(R6) 目標値:63.0%以上(R7)
- 歯の健康▶6歳で永久歯むし歯のない者の割合 最新値:98.4%(R7) 目標値:97.0%以上(R7)
- 歯の健康▶12歳でむし歯のない者の割合 最新値:70.4%(R7) 目標値:68.5%以上(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
13/24
前年度 11/21

- ふくしま脱メタボプロジェクト事業【達成】 適正体重キャンペーンの参加者数 13,934人【決算額】 1億7,636万円
- ふくしまおいしく減塩緊急対策事業【達成】 減塩推進ネットワーク会議(減塩アクションプロジェクト)参画企業数 22社【決算額】 5,817万円
- たばこの健康影響対策事業【未達成】 空気のきれいな施設・車両認証数 施設2,986、車両1,016件【決算額】 566万円
- 健康経営トータルサポート事業【未達成】 健康経営に取り組む事業所の増加数 320社【決算額】 4,381万円 etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 若い世代から高齢者までライフステージに応じた疾病予防

基本指標の達成度 3／14
事業の達成度 2／7
紐づく事業:たばこの健康影響対策事業、ふくしまおいしく減塩緊急対策事業 など

施策2 食、運動、社会参加による健康づくり

基本指標の達成度 0／4
事業の達成度 8／11
紐づく事業:ふくしま脱メタボプロジェクト事業、健康経営トータルサポート事業 など

施策3 高齢者の介護予防の強化

基本指標の達成度 0／1
事業の達成度 2／4
紐づく事業:老人クラブ活動等社会活動促進事業、女性のための骨粗鬆症重症化予防事業 など

施策4 東日本大震災・原子力災害の影響を踏まえた健康づくり

事業の達成度 1／2
紐づく事業:被災者健康サポート事業 など

※「事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である(再掲を含む)。

達成度を踏まえた課題分析

健康指標(メタボ、肥満、喫煙率など)の悪化が共通課題として挙げられており、これらの改善には時間を要することから、引き続き、無関心層を含む個人への効果的なアプローチと行動変容の促進が重要である。
市町村・企業・医療機関等との連携強化や、健康経営の普及拡大、食環境整備(減塩)等に引き続き取り組むとともに、データを活用した科学的根拠に基づく保健事業を展開し、地域・職域が一体となったオールふくしまでの取組推進を進めていく。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R3年度)	前年 (R6年度)	最新値 (R7年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
福島県で子育てを行いたいと回答した県民の割合（意識調査）	65.7%	58.4%	59.5%	74.9%	86.0%以上	令和2年度以降、実績値は減少傾向が続いている。令和7年度は前年比1.1ポイント増と若干持ち直したものの、依然として低い水準が続いている。要因としては、子育て費用の負担増(61.8%が指摘)や精神的疲れなど多様な要因が存在している。「福島県こどもまんなかプラン」に基づき、結婚・妊娠・出産・子育て環境の整備、経済的負担の軽減、地域の子育て支援推進、市町村への支援を通じ、社会全体で子育てを応援する気運の醸成を図る。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
4／8
前年度 3／8

※ 見込みを含む

<達成(見込み含む)した基本指標>

- 周産期死亡率 最新値:3.7%(R4～R6平均) 目標値:3.5%(R7)
- 小児科医師数(人口10万対) 最新値:119.0人(R6) 目標値:119.2(R7)
- 男性の育児休業の取得率(民間(事業所規模30人以上)) 最新値:55.2% (R7) 目標値:50.4% (R7)
- 男性の育児休業の取得率(福島県(※知事部局) 最新値:100.8% (R7) 目標値:100% (R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
23／39
前年比 21／40

- 不妊治療支援総合対策事業 【達成】 不妊症検査費用助成件数 703件 【決算額】 2億770万円
- えがお輝くふくしまの保育支援事業 【達成】 支援する施設数 131施設 【決算額】 3,484万円
- 結婚・子育て応援事業 【未達成】 ふくしま結婚・子育て応援センターにおける引合せ数 1,264件 【決算額】2億2,493万円
- 保育の質の向上支援事業 【未達成】 放課後児童支援員認定資格研修修了者数 371人 【決算額】 4,637万円 etc

施策ごとの達成状況

施策1 出会い・結婚、妊娠・出産の希望をかなえる支援の充実

基本指標の達成度 1／4

事業の達成度 4／5

紐づく事業：結婚・子育て応援事業、不妊治療支援総合対策事業 など

施策2 安心して子育てできる環境づくり

基本指標の達成度 1／2

事業の達成度 14／24

紐づく事業：えがお輝くふくしまの保育支援事業、ふくしま保育料支援事業、子どもの医療費助成事業 など

施策3 社会全体で子育てを支える仕組みづくり

基本指標の達成度 2／2

事業の達成度 5／10

紐づく事業：やさしさあふれるふくしま子育て応援事業、
子育て・子育て環境づくり総合対策事業（地域で支える子育て推進事業） など

※「事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

結婚支援では引き合わせ数や成婚件数が目標に届かず、若い女性の人口流出が婚姻数減少に直結している。不妊治療支援や周産期医療は一定の成果を上げているが、産婦人科・小児科医師は依然不足している。保育環境の充実や経済的負担軽減は子育て意向の向上に寄与しているものの、地域間格差の解消や保育人材確保が課題として残る。婚姻率・出生率向上には、出会いの機会創出と結婚後の生活安定支援（居住・就労・子育て）を切れ目なく一体的に推進することが不可欠である。

ひと 分野 政策3 「福島ならではの」教育の充実

基本指標（成果指標）

	基準値	前年 (R6年度)	最新値 (R7年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合(高等学校)	—	100%	100%	90%	100%	取組の成果が現れ、最終目標を達成した。学習指導要領の改訂や県教育委員会の各事業により、地域人材を活用した取組が積極的に推進された一方、探究学習の指導体制に課題を感じる教員が8割超に上り、管理職を含めた教員に対する探究学習の理解醸成や地域人材のマッチングが課題となっている。また、生徒が成果を発表する場も不足している。今後は教員研修の実施や地域探究コーディネーターの配置、探究EXPOの開催等により、学校と地域の連携強化を図る。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
4/22
前年比 5/22

- <達成(見込み含む)した基本指標>
- 自分手帳の活用率(小学生) 最新値:100% (R7) 目標値:100%以上 (R7)
 - 自分手帳の活用率(中学生) 最新値:97.1% (R7) 目標値:96%以上 (R7)
 - 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における新体力テストの全国平均との比較値(全国=100)
 - <中2 男子> 最新値:101.2% (R7) 目標値:99.6%以上 (R7)
 - <中2 女子> 最新値:101.4% (R7) 目標値:100.1%以上 (R7)

※ 見込みを含む

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
43/69
前年比 39/66

- グローバル人材育成事業 【達成】 グローバルな視点で地域の課題を解決するための提言を行った生徒の人数 66人
【決算額】 5,668万円
- 部活動指導員配置促進事業 【達成】 指導員配置人数 高校 84人 中学校 139人
【決算額】 9,916万円
- 福島スクール・サポート・スタッフ事業 【未達成】 スクール・サポート・スタッフの配置校数 651校
【決算額】 4億5,762万円
- チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業 【未達成】 参加人数(キッズパワーアップ事業) 9,262人
【決算額】 1億859万円 etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である。

政策ごとの達成状況

施策1 「学びの変革」の推進と資質・能力の育成

基本指標の達成度 0／10
事業の達成度 7／15
紐づく事業：ふくしま英語力向上事業、
ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト など

施策2 学校組織の活性化の推進

基本指標の達成度 0／1
事業の達成度 9／12
紐づく事業：県立学校入学者選抜WEB出願事業、
働き方と勤務の在り方変革事業 など

施策3 多様性を重視した教育の推進

事業の達成度 8／10
紐づく事業：ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業、
個別支援教育サポート事業 など

施策4 福島に誇りを持つことができる教育の推進

基本指標の達成度 0／2
事業の達成度 9／16
紐づく事業：福島版震災・防災教育支援チーム推進事業、
福島イノベーション人材育成事業 など

施策5 人生100年時代を見通した多様な学びの場づくり

基本指標の達成度 4／8
事業の達成度 4／7
紐づく事業：県立図書館、県立美術館、県立博物館の整備・充実、
震災・原発の経験・教訓、復興状況伝承事業 など

施策6 安心して学べる環境づくり

基本指標の達成度 0／1
事業の達成度 6／9
紐づく事業：長寿命化事業（高等学校・特別支援学校）、
福島県教育復興推進事業 など

※「事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

震災からの教育復興や地域課題探究活動は一定の成果を上げつつある一方、学力が全国平均を下回る傾向が続いている。学力向上には、教員の指導力強化や個別最適な学びの推進、ICT活用の充実が鍵となる。また、教員の多忙化解消が授業の質向上に直結するため、働き方改革との両輪での取組が今後の方向性として求められる。

ひと 分野 政策4 誰もがいきいきと暮らせる県づくり

基本指標（成果指標）

	基準値 (R3年度)	前年 (R6年度)	最新値 (R7年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
日頃、人と人の支え合いや絆を実感していると回答した県民の割合(意識調査)	63.5%	57.8%	59.5%	72.7%	84.0%以上	前年度から1.7ポイントの増となったものの、ピークだった令和3年度からは△4.0ポイントとなっており、原状回復には至っていない。回答者の6割を占める50代以上の年代でポイントが減少しており、中でも全体の2割強を占める70代以上の減少が顕著であり、実績値全体を押し下げている。 児童虐待・DV相談件数は増加しており、きめ細かな支援体制の強化が課題。今後は相談体制の整備・関係機関連携の推進と、普及啓発による県民意識の醸成を図る。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
1/9
前年度 1/8

※ 見込みを含む

- <達成(見込み含む)した基本指標>
- 県(知事部局)の管理職における女性職員の割合(副課長相当職以上の女性管理職)
最新値:15.0%(R7) 目標値:15.0%(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
19/24
前年度 9/20

- 多文化共生推進事業【達成】「やさしい日本語」交流事業参加者数(累計) 10,420人【決算額】 933万円
- とともに輝くふくしまライフスタイル推進事業【達成】「とも家事」パートナー企業数 34社(団体)【決算額】 6,590万円
- ヤングケアラー支援体制強化事業【未達成】支援者研修会の参加延べ人数 366名【決算額】 1,090万円
- 日常生活自立支援事業【未達成】日常生活自立支援事業の実利用件数 667件【決算額】 7,177万円

etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 多様な人々が共に生きる社会の形成

基本指標の達成度 0／3
事業の達成度 8／10
紐づく事業：地域共生社会構築支援事業、多文化共生推進事業 など

施策2 人権侵害等の防止対策の強化

事業の達成度 1／1
紐づく事業：こどもの見守り・自立応援事業、困難な問題を抱える女性への支援体制構築事業 など

施策3 男女共同参画社会の実現

基本指標の達成度 1／4
事業の達成度 3／3
紐づく事業：ふくしまで輝く女性活躍促進事業、女性の意思決定過程への参画拡大に関する取組 など

施策4 援助を必要とする人を支え、安心、やさしさを実感できる社会の実現

基本指標の達成度 0／2
事業の達成度 7／10
紐づく事業：こころの健康相談ダイヤル、ひきこもり対策推進事業（ひきこもり支援体制強化モデル事業） など

※「事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

震災・原発事故の長期的影響が続く中、こどもの心のケアや虐待対策、ヤングケアラー支援、ひとり親・社会的養護など、困難を抱える人への支援体制強化が共通課題となっている。また、地域偏在（会津・浜通りの資源不足）や担い手不足も指摘されている。今後は、多文化共生・障がい者差別解消・男女共同参画など「誰もが暮らしやすい社会」の実現に向け、関係機関の横断的連携と地域全体での支え合いを一層推進することが求められる。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R2年)	前年 (R6年)	最新値 (R7年)	目標値 (R7年)	目標値 (R12年)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
人口の社会増減	△6,278 人	△6,849 人	△7,617 人	△3,486 人	0人	本県は転出超過が7,617人(全国ワースト2位)と深刻な状況にある。特に15～24歳の若年層が全体の約7割を占め、女性の流出が男性を上回る点が顕著な課題である。 これを受け、若者・女性の流出要因の調査・分析を踏まえ、部局横断的な政策立案により、県内定着・還流を促進する取り組みを推進していく。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
6／6
前年度 6／6

<達成(見込み含む)した基本指標>

- 移住を見据えた関係人口創出数 最新値:7,046人(R7) 目標値:5,580人(R7)
- ふくしまファンクラブの会員数 最新値:23,795人(R7) 目標値:19,550人(R7)
- 移住ポータルサイトへのアクセス数 最新値:477,575PV 目標値:374,250PV(R7)
- 都内の移住相談窓口における相談件数 最新値:8,991人(R7) 目標値:7,855人(R7)
- 移住コーディネーターの活動件数 最新値:6,090件(R7) 目標値:5,590件(R7)
- 移住者数 最新値:4,033人(R7) 目標値:3,429人(R7)

※ 見込みを含む

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
15／23
前年度 11／24

- 人の魅力が人を呼び込む関係人口連鎖事業 **【達成】** 都内セミナー参加者のツアーに対する関心度(%) 68.3% **【決算額】** 2,547万円
- 「転職なきふくしまぐらし。」推進事業 **【達成】** 本県でのテレワーク体験者数 285人 **【決算額】** 9,072万円
- ふくしま若者Uターン促進プロジェクト事業 **【未達成】** 大規模交流会の参加者数 164人 **【決算額】** 3,490万円
- Jヴィレッジ利活用促進事業 **【未達成】** Jヴィレッジの来場者数 48万人 **【決算額】** 1億9,502万円 etc

施策ごとの達成状況

施策1

ふくしまとのつながりの強化、関係人口の拡大

基本指標の達成度 2／2
事業の達成度 9／12
紐づく事業：チャレンジふくしま首都圏情報発信拠点事業、ふくしま「ご縁」継続・発展プロジェクト など

施策2

移住・定住の推進

基本指標の達成度 4／4
事業の達成度 6／11
紐づく事業：福島に住んで。移住・定住促進事業、ふくしまぐらし住宅提供事業 など

※「事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

移住促進・関係人口創出・交流人口拡大の各事業において成果が確認される一方、若年層の県外流出は依然として深刻である。」
ヴィレッジを核とした浜通りの活性化や副業・テレワークを活用した「転職なき移住」など多様なアプローチが進んでいるが、二次交通・生活環境の整備不足、フルテレワーク対応企業の少なさ、空き家活用の促進など受入環境の課題も残る。社会増減ゼロに向けては、官民・市町村が連携した「ふくしま共創チーム」を核に、若者目線の施策立案と継続的な関係深化が鍵となる。

基本指標（成果指標）

	基準値	前年	最新値	目標値	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた 全体評価
避難解除区域の居住人口	63,700人 (R2年度)	65,074人 (R6年度)	65,179人 (R7年度)	増加を 目指す	増加を 目指す	復興拠点整備や道路整備、医療機能の再構築、 公設商業施設の運営支援など生活環境の整備が帰 還促進に寄与した。また、移住促進事業では目標を 大幅に上回った。一方で、令和8年2月時点でなお 約2万3,000人が避難を余儀なくされており、引 き続き、避難者支援に取り組む必要がある。
避難者数	33,365人 (R3年度)	24,644人 (R6年度)	23,410人 (R7年度)	長期的に0を 目指す	長期的に0を 目指す	
避難指示区域の面積	336km ² (R2年度)	309km ² (R6年度)	309km ² (R7年度)	長期的に0を 目指す	長期的に0を 目指す	
本県の震災・原発事故からの復興・ 再生が進んでいると回答した県民 の割合(意識調査)	42.2% (R3年度)	54.3% (R6年度)	56.8% (R7年度)	54.6% (R7年度)	70.0%以上	

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
6/13
前年度 6/13

※ 見込みを含む

- <達成(見込み含む)した基本指標>
- 双葉郡の商工会会員事業所の事業再開状況 最新値:91.6% (R7) 目標値:87.0% (R7)
 - 日頃、放射線の影響が気になると回答した県民の割合(意識調査) 最新値:16.8% (R7) 目標値:29%以下 (R7)
 - 県産農産物価格の回復状況(米) ※県産農産物取引価格の全国平均価格に対する割合 震災前(H22)の割合を100*とした場合の、現在の水準
最新値:105.98% (R6) 目標値:100% (R7)
 - 県産農産物の輸出額 最新値:476百万円(R6) 目標値:288百万円 (R7)
 - 外国人宿泊者数 最新値:325,210千人 (R7) 目標値:319,000千人 (R7)
 - 福島県に良いイメージを持っている人の割合 最新値:50.9% (R7) 目標値:50% (R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
62/89
前年度 52/84

- 避難地域復興拠点推進事業 【達成】 交付件数 3件 【決算額】 2億2,277万円
- チャレンジふくしま戦略的情報発信事業 【達成】 県公式フェイスブック・インスタグラムのフォロワー数10万5,104人
【決算額】 4億4,517万円
- 帰還促進強化支援事業 【未達成】 本事業の補助を受け住宅再建を行った件数 137件 【決算額】 2億7,971万円
- 福島県営農再開支援事業 【未達成】 営農再開に向けた市町村訪問数 20回 【決算額】 22億9,039万

etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 複合災害からの復興の加速化、避難地域の復興・再生

基本指標の達成度 1／3
事業の達成度 11／18
紐づく事業：避難地域等医療復興事業、被災地域生活交通支援事業 など

施策2 放射線の不安を解消し、安心して暮らせる取組の推進

事業の達成度 14／19
紐づく事業：里山再生事業、ふくしまの恵み安全・安心推進事業 など

施策3 被災者・避難者が安心して生活再建できる環境づくり

事業の達成度 7／10
紐づく事業：東日本大震災による女性の悩み・暴力相談事業、被災者の心のケア事業 など

施策4 中間貯蔵施設事業の推進と安全確保

紐づく事業：国直轄事業への要望、中間貯蔵施設対策事業 など

施策5 被災者・避難者の事業再開支援

基本指標の達成度 0／2
事業の達成度 13／21
紐づく事業：避難地域商工会等機能強化支援事業、福島県営農再開支援事業 など

施策6 原子力損害賠償の完全実施と円滑な賠償請求に対する支援の実施

紐づく事業：原子力賠償被害者支援事業、原子力損害対策・賠償支援推進事業 など

施策7 原子力防災体制の充実と原子力発電所周辺地域の安全確保

基本指標の達成度 1／1
事業の達成度 2／2
紐づく事業：原子力防災体制整備事業、原子力安全監視対策事業 など

施策8 風評・風化対策の強化

基本指標の達成度 4／7
事業の達成度 15／19
紐づく事業：県産品風評対策事業、ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業 など

※「事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

避難地域12市町村では、復興拠点整備や住宅再建支援、移住促進により居住人口は増加傾向にある。また、風評払拭に向けた情報発信や農林水産物の安全確認の取組の効果が、外国人宿泊者数の増加や農産物の輸出拡大等の成果となって現れており、帰還意欲の醸成にも貢献していると考えられる。一方、医療・商業機能の回復、公共交通の利用低迷、営農再開率の伸び悩みなど生活環境整備の課題も残る。今後は担い手確保や地域コミュニティ形成を強化しながら、特定復興再生拠点区域を中心に帰還・移住を加速させることが重要である。

基本指標（成果指標）

	基準値	前年	最新値	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
土砂災害から保全される人家戸数	15,061戸 (R2年度)	15,735戸 (R6年度)	16,379戸 (R7年度)	16,305戸	17,501戸	土砂災害対策については、砂防事業の実施により、令和8年3月末時点で保全人家戸数は目標値を上回る成果を達成した。
犯罪発生件数(刑法犯認知件数)	7,655件 (R2年)	8,844件 (R6年)	8,674件 (R7年)	前年比減少を目指す	前年比減少を目指す	犯罪発生件数については、治安・交通事故対策事業及び詐欺対策事業により各種広報・啓発活動を推進した結果、令和7年中の刑法犯認知件数は前年比170件減となり、目標(前年比減少)を達成した。 両分野ともハード・ソフト両面からの取組が成果につながっている。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
5/13
前年度 4/13

※ 見込みを含む

<達成(見込み含む)した基本指標>

- 土砂災害から保全される要配慮者利用施設の率 最新値:73%(R7) 目標値:72%(R7)
- 過去の水害を踏まえた治水対策により浸水被害が解消する家屋数 最新値:9,173戸(R7) 目標値:9,000戸(R7)
- 本県における防災士認証登録者数 最新値:5,703人(R7) 目標値:5,500人(R7)
- 自分の暮らす地域は、自然災害や大規模な火災などに対して安心して暮らせる災害に強い地域だと回答した県民の割合(意識調査) 最新値:50.5%(R7) 目標値:47%以上(R7)
- ふくしまHACCPの導入状況 最新値:62.2%(R7) 目標値:62.2%(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
28/44
前年度 22/44

- そなえるふくしま防災事業 【達成】 防災啓発実施者数 19,547人 【決算額】 5,680万円
- 県民を詐欺等から守る総合対策事業 【達成】 アプリ利用者数 64,000人 【決算額】 2,875万円
- ふくしま消防力強化事業 【未達成】 市部における40歳以下の新規団員数 425人 【決算額】 606万円
- 消費者行政体制強化事業 【未達成】 消費生活センター設置市町村の県内人口カバー率 79%
【決算額】 4,936万円 etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

政策を取り巻く状況

施策1 災害に強い県土の形成

基本指標の達成度 2/2
事業の達成度 6/8
紐づく事業：橋梁耐震補強事業、治山事業（一般治山事業） など

施策2 地域防災力の強化と充実

基本指標の達成度 2/4
事業の達成度 4/8
紐づく事業：地域防災力強化支援事業、そなえるふくしま防災事業 など

施策3 危機管理体制の強化

事業の達成度 9/11
紐づく事業：被災者生活再建支援体制推進事業、
災害時健康危機管理体制整備事業 など

施策4 防犯対策、防火対策の充実、交通安全対策の推進

基本指標の達成度 0/3
事業の達成度 3/5
紐づく事業：県民を詐欺等から守る総合対策事業、
県民の安全・安心を守る治安・交通事故対策事業 など

施策5 消費生活・食の安全・安心の確保

基本指標の達成度 1/2
事業の達成度 0/3
紐づく事業：食品の正しい表示推進事業、消費者行政体制強化事業 など

施策6 生活衛生の確保による、快適な生活環境づくり

事業の達成度 1/1
紐づく事業：水道事業基盤強化・広域連携推進事業、PCB廃棄物適正処理事業 など

施策7 ライフラインの維持管理の強化による安心・快適な生活環境の構築

基本指標の達成度 0/2
事業の達成度 5/8
紐づく事業：木造住宅等耐震化支援事業、交通安全事業 など

※「事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

東日本大震災から15年が経過し、震災の風化や風評が共通課題として挙げられる。防災意識の向上や自主防災組織の強化は進む一方、避難計画の作成率や消防団員の充足率など実際の行動変容には至っていない事例も多い。土砂・水害対策や橋梁耐震化など県土強靱化は着実に進んでいるが、資材高騰や人手不足が工程管理上の課題となっている。人材育成を通じた危機管理体制の強化や、市町村への丁寧な支援継続が今後の鍵である。

基本指標（成果指標）

	基準値	前年	最新値	目標値	目標値	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
医療施設従事医師数(全県)	3,819人 (H30年)	3,914人 (R4年)	4,162人 (R6年)	4,178人 (R7年)	4,518人 (R12年)	修学資金貸与や看護職の離職防止・復職支援、専門医養成など多角的な取組が実施されたことにより、浜通りの常勤医師数は前年比で増加した。一方、介護職員数は目標に大きく届かず、看護師等養成所の入学充足率も64.7%と目標を下回るなど、将来の人材供給基盤の弱体化が懸念される状況にある。
// (相双医療圏)	158人 (H30年)	167人 (R4年)	193人 (R6年)	208人 (R7年)	230人 (R12年)	
就業看護職員数(全県)	23,912人 (H30年)	24,104人 (R4年)	24,080人 (R6年)	25,586人 (R7年)	25,935人 (R12年)	
// (相双医療圏)	1,366人 (H30年)	1,428人 (R4年)	1,452人 (R6年)	1,546人 (R7年)	1,675人 (R12年)	
介護職員数	32,473人 (R元年度)	33,557人 (R5年度)	32,595人 (R6年度)	35,078人 (R7年度)	36,403人 (R12年度)	

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
6/12
前年度 6/12

※ 見込みを含む

＜達成(見込み含む)した基本指標＞

- 献血目標達成率 最新値:103.7%(R7) 目標値:100%(R7)
- 認知症サポーター数 最新値:265,608人(R7) 目標値:250,000人(R7)
- 認定看護師(感染管理)数 最新値:67人(R7) 目標値:47人(R7)
- 結核罹患率 最新値:5.4(R6) 目標値:7(R7)
- 感染症法に基づく医療措置協定締結医療機関(入院)等の確保病床数(流行初期以降)
最新値:921床(R7) 目標値:850床(R7)
- 感染症法に基づく医療措置協定締結医療機関(発熱外来)等の確保機関数(流行初期以降)
最新値:689機関(R7) 目標値:680機関(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
21/37
前年度 18/35

- 医師確保修学資金貸与事業 **【達成】** 県内の新規臨床研修医の採用人数 131人 **【決算額】** 7億5,646万円
- ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業 **【達成】** 導入施設等の数(累計) 1,183施設 **【決算額】** 4億5,901万円
- ふくしま医療人材確保事業 **【未達成】** 過疎地域等医師研修事業における研修会等参加人数 367人 **【決算額】** 14億2,555万円
- 福祉・介護人材プロジェクト(人材定着事業) **【未達成】** 福祉・介護職員のつどい参加者数 98人 **【決算額】** 1,127万円 etc

施策ごとの達成状況

施策1 質が高く切れ目のない医療提供体制の構築

基本指標の達成度 1／6
事業の達成度 4／5
紐づく事業：救急医療体制整備事業、地域がん診療連携拠点病院整備事業 など

施策2 医療、介護・福祉、地域住民が互いに連携し地域ぐるみで支える体制づくり

事業の達成度 1／2
紐づく事業：宮下病院整備事業、地域医療情報ネットワーク活用強化支援事業 など

施策3 高齢者、障がい者が安心して暮らせる介護・福祉提供体制の整備

基本指標の達成度 1／2
事業の達成度 2／3
紐づく事業：広域的支援事業、精神障がい者アウトリーチ推進事業 など

施策4 医療、介護・福祉の人材確保

事業の達成度 14／25
紐づく事業：“医療の仕事”魅力発信事業、
介護のしごと魅力発信事業 など

施策5 感染症予防の体制強化

基本指標の達成度 4／4
事業の達成度 0／2
紐づく事業：感染症専門人材養成等事業、
感染症危機管理体制強化事業 など

※「事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

医師・看護職・介護職員など医療福祉人材の不足や地域偏在があり、特に相双地域での回復は震災前水準に遠い。少子化による養成所入学者の減少、介護テクノロジーの活用不足、認知症支援や障がい者の地域生活移行の困難さも課題として挙げられている。今後は若年層への魅力発信・修学支援による人材育成、ICT活用等による医療介護現場の生産性向上、地域包括ケアシステムの深化を通じ、持続可能な安心の医療・介護提供体制の構築を目指す必要がある。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R3年度)	前年 (R6年度)	最新値 (R7年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
本県の豊かな自然や美しい 景観が保全され、野生鳥獣 との共生が図られていると 回答した県民の割合(意識 調査)	53.4%	47.9%	49.3%	66.2%	82.0% 以上	猪苗代湖のラムサール条約登録の動き等が寄与し、 中通り・会津地方では割合が増加した。 自然公園利用者数の減少や農作物への鳥獣被害対 策が課題であり、特に避難地域では国・県・市町村の 連携強化が急務である。今後は「ふくしまグリーン復 興構想」に基づく自然環境保全の推進と、捕獲強化・ 人材育成等の総合的な鳥獣対策を進めていく。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
3/7
前年度 3/7

※ 見込みを含む

<達成(見込み含む)した基本指標>

- 産業廃棄物の排出量 最新値:6,747千トン(R6) 目標値:7,700千トン以下(R7)
- 産業廃棄物の再生利用率 最新値:52%(R6) 目標値:52%以上(R7)
- 野生鳥獣による農作物の被害額 最新値:150,630千円(R6) 目標値:155,418千円(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
16/30
前年度 13/28

- カーボンニュートラル推進事業 **【達成】** 温室効果ガス排出量の見える化に取り組んだ県内事業所数(累計) 66事業所 **【決算額】** 1億6,035万円
- 鳥獣被害対策強化事業 **【達成】** ハンタースクール参加者数 33人 **【決算額】** 5億5,554万円
- わたしから始めるごみ減量事業 **【未達成】** アプリ累計ダウンロード数 29,276 **【決算額】** 7,513万円
- ふくしま子ども自然環境学習推進事業 **【未達成】** 尾瀬で自然環境学習を行った県内児童・生徒数 484人 **【決算額】** 905万円 etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 豊かな自然や美しい景観の保護・保全

基本指標の達成度 0/2

事業の達成度 2/7

紐づく事業:猪苗代湖魅力向上・発信事業、ふくしまグリーン復興推進事業 など

施策2 暮らしにおける地球温暖化対策の推進

事業の達成度 6/11

紐づく事業:カーボンニュートラル推進事業、福島県省エネルギー住宅改修補助事業 など

施策3 環境にやさしい循環型社会づくり

基本指標の達成度 2/4

事業の達成度 4/8

紐づく事業:わたしから始めるごみ減量事業、エコ・リサイクル製品普及拡大事業 など

施策4 野生動植物との共生

基本指標の達成度 1/1

事業の達成度 4/4

紐づく事業:ふくしまの生物多様性保全支援事業、鳥獣被害対策強化事業 など

※「事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である(再掲を含む)。

達成度を踏まえた課題分析

野生鳥獣被害対策・生物多様性保全・地球温暖化対策・循環型社会形成など幅広い環境施策を推進しているが、イノシシやクマの生息域拡大への対応強化、猪苗代湖のCOD値上昇抑制、全国ワースト水準にある一般廃棄物排出量の削減が喫緊の課題である。カーボンニュートラルの実現に向けては市町村・企業との連携強化が不可欠であり、有機農業・エシカル消費の普及など県民の行動変容を促す取組も継続が求められる。ICT活用や多主体連携による施策の深化を通じ、自然と人が共生できる持続可能な地域社会の構築を目指している。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R3年度)	前年 (R6年度)	最新値 (R7年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと回答した県民の割合(意識調査)	86.1%	85.4%	85.9%	90.0%	95.0%以上	2年連続で85%を超えており、地域の情報発信や関係人口拡大が寄与していると見られる。 60歳以上では前年比で減少傾向にある一方、15歳～40歳代の若い世代では「どちらともいえない」の割合が高く、意識醸成が不十分である。また、過疎・中山間地域の高齢化率(40.3%)は県全体(33.8%)を大きく上回り、人口減少が深刻化している。若い世代への農林水産業・農山漁村に関する情報発信強化、体験活動の推進、地域おこし協力隊等の外部人材の誘致、若手リーダーの育成など、若年層を中心とした関係人口の創出と集落機能の維持を図る。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
5/7
前年度 5/7

<達成(見込み含む)した基本指標>

- 地域おこし協力隊定住率
- 新たに大学生と活性化に取り組む集落数
- 地域共同活動による農地・農業用水等の保全管理面積の割合
- 過疎・中山間地域における観光入込数
- 特定地域づくり事業協同組合の認定数

最新値:68.7%(R7) 目標値:66.5%(R7)
最新値:103集落(R7) 目標値:91集落(R7)
最新値:53% (R7) 目標値:53% (R7)
最新値:23,164千人 (R6) 目標値:23,564千人(R7)
最新値:9団体 (R7) 目標値:6団体 (R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
10/17
前年度 12/17

- 広葉樹林再生事業【達成】本事業による森林整備面積 404ha 【決算額】 10億6,163万円
- 小さな拠点・地域運営組織形成支援事業 【達成】本事業への参加者数 336人 【決算額】 401万円
- 「歳時記の郷・奥会津」活性化事業【未達成】 支援団体数 3団体 【決算額】 1億5,517万円
- 遠隔医療設備整備事業【未達成】 補助件数 1件 【決算額】 31万円

etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 過疎・中山間地域のひとの確保と地域力の育成

基本指標の達成度 3/3

事業の達成度 3/6

紐づく事業:「歳時記の郷・奥会津」活性化事業、小さな拠点・地域運営組織形成支援事業 など

施策2 過疎・中山間地域のしごとの確保

基本指標の達成度 2/2

事業の達成度 5/7

紐づく事業:中山間地域総合整備事業、地域林政アドバイザー活用支援事業 など

施策3 過疎・中山間地域の暮らしの基盤整備

基本指標の達成度 0/2

事業の達成度 2/4

紐づく事業:過疎・中山間地域におけるすれ違い困難箇所の道路整備事業、生活路線バス運行維持のための補助(通常) など

※「事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である(再掲を含む)。

達成度を踏まえた課題分析

過疎・中山間地域では、人口減少・高齢化による農地保全や森林整備分野での人材不足や、道路のすれ違い困難箇所の解消などの生活基盤の確保が課題となっている。一方、地域運営組織の形成や特定地域づくり事業協同組合の活用による働く場の確保など、地域の運営体制の維持・強化や担い手確保に向けた多面的な取組が進んでいる。今後も市町村・地域住民・関係機関等が一体となり、持続可能な地域社会の構築を総合的に推進していく。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R3年度)	前年 (R6年度)	最新値 (R7年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していると回答した県民の割合（鑑賞を含む）（意識調査）	31.7%	33.9%	31.2%	40.9%	52.0%以上	前年度比2.7ポイント減と目標未達が続いており、10代・20代は比較的高いものの、30代以降は年齢層が上がるほど参加割合が低下するため、特に社会人世代への働きかけが急務となっている。 一方、大ゴッホ展では来場者12.3万人を記録する等、個別事業の成果は顕著であった。文化・スポーツ双方で事業効果は一定程度認められるものの、県民全体の参加意識の底上げには至っておらず、さらなる広報強化と参加機会の拡充が課題といえる。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
6／10
前年度 6／10

※ 見込みを含む

<達成(見込み含む)した基本指標>

- 市街地内の都市計画道路(幹線道路)の整備延長 最新値:338.5km(R7) 目標値:338.5km(R7)
- 来街者による賑わいが維持できていると回答した商店街の割合 最新値:36.5%(R7) 目標値:29%(R7)
- NPOやボランティアと県内自治体等との協働事業件数 最新値:536件(R7) 目標値:531件(R7)
- 地域創生総合支援事業(サポート事業)のうち「一般枠」の採択件数 最新値:2,172件(R7) 目標値:2,161件(R7)
- 県立美術館の入館者数 最新値:433,307人(R7) 目標値:100,000人(R7)
- プロスポーツチームのホーム公式戦平均入場者数 最新値:13,017人(R7) 目標値:9,841人(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
20／27
前年度 15／25

- 国際芸術鑑賞事業【達成】 展示会の来場者数 12.3万人 【決算額】 216万円
- ふくしまプロスポーツ地域活力創出事業【達成】プロスポーツふれあい交流会参加者数 5,730人 【決算額】 1億152万円
- スポーツふくしま普及啓発・住民参加事業【未達成】 スポーツ体験教室・ボランティア研修の参加者数 404人 【決算額】 1,304万円
- デジタル変革(DX)推進事業【未達成】 ICTアドバイザー市町村派遣事業により派遣を受ける市町村数(1年あたり) 39件 【決算額】 4億1,983万円

etc

施策ごとの達成状況

施策1 にぎわいと魅力あるまちづくりの推進

基本指標の達成度 2/2

事業の達成度 7/8

紐づく事業: まちなか賑わい創業促進事業、
浜通り地域等交流人口・消費拡大支援事業 など

施策2 住民が主役となる地域づくり

基本指標の達成度 2/2

事業の達成度 0/1

紐づく事業: 地域創生総合支援事業

施策3 効果的・効率的な行政の推進

事業の達成度 0/2

紐づく事業: 市町村への支援などに関する取組、
デジタル変革(DX)推進事業 など

施策4 生涯の学び、文化・芸術に親しむ環境づくり

基本指標の達成度 1/4

事業の達成度 7/9

紐づく事業: ふくしまアート新発見事業、
県立図書館、県立美術館、県立博物館の整備・充実 など

施策5 ふくしまのスポーツの推進

基本指標の達成度 1/2

事業の達成度 6/7

紐づく事業: 東京2025デフリンピック関連復興推進事業、
ともに、つながる。ふくしまスポーツ交流事業 など

※「事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である(再掲を含む)。

達成度を踏まえた課題分析

文化・スポーツ活動への県民参加率が約3割にとどまり、生涯学習講座受講者数も目標を下回るなど、参加促進が共通課題となっている。また、スポーツ分野では実施率向上やプロスポーツの認知拡大が求められ、商店街では担い手不足や空き店舗増加によるまちなかの賑わい低下が続いている一方、大ゴッホ展や声楽コンテスト、障がい者スポーツ交流など多彩な取組で成果も見られた。今後は若年層・働き世代へのアプローチ強化や地域の自走・継続に向けた支援が重要である。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R元年)	前年 (R4年)	最新値 (R5年)	目標値 (R7年)	目標値 (R12年)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
製造品出荷額等	50,890 億円	54,610 億円	56,345 億円	53,483 億円	56,209 億円	2024年12月の短観によると、製造業の業況判断D.Iは2023年同月比で4ポイント回復しているものの、今後は悪化見込みとの分析もあり、物価高騰や海外経済の動向により先行きは不透明な状況にある。こうした外部環境の影響を受けずに製造品出荷額等を増加させるため、産業集積や効率化の推進が課題となっている。今後は、自動車関連や再生可能エネルギー、航空宇宙、ICT関連産業などの企業誘致に加え、企業間ネットワーク構築や販路拡大支援を通じて既存企業の新規分野参入を促進していく方針である。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
3/8
前年度 3/8

※ 見込みを含む

<達成(見込み含む)した基本指標>

- 県産品輸出額 最新値:1,585百万円(R6) 目標値:1,502百万円(R7)
- 事業継続計画(BCP)の策定支援件数 最新値:68件(R7) 目標値:58件(R7)
- 医療機器生産金額 最新値:1,560億円(R6) 目標値:2,233億円(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
21/27
前年度 19/29

- 県産品デジタルプロモーション事業 **【達成】** 国内／欧米向けInstagramでの記事投稿数 318件 **【決算額】** 4,074万円
- 起業・新事業創出支援事業 **【達成】** 起業支援者数 153者 **【決算額】** 1億8,422万円
- 次世代モビリティ・EV参入促進事業 **【未達成】** 商談会の出展企業数 83社 **【決算額】** 2,244万円
- ものづくり企業海外展開支援事業 **【未達成】** ものづくり商談会出店企業数 5社 **【決算額】** 194万円 etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 地域の企業が主役となる、しなやかで力強い地域産業の育成・支援

基本指標の達成度 3/6

事業の達成度 13/19

紐づく事業:ふくしま事業承継等支援事業、県産品デジタルプロモーション事業など

施策2 地域の企業における技術力・開発力の強化に向けた支援

基本指標の達成度 0/1

事業の達成度 6/6

紐づく事業:福島県オリジナル清酒製造技術の開発、企業価値向上推進事業など

施策3 ベンチャーの創出、起業の促進に向けた支援の充実

基本指標の達成度 0/1

事業の達成度 2/2

紐づく事業:起業・新事業創出支援事業

※「事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である(再掲を含む)。

達成度を踏まえた課題分析

県内中小企業を取り巻く環境は、物価高騰・人手不足・後継者不足・デジタル化対応など多岐にわたる経営課題が複合化している。清酒など強みを持つ分野での技術力向上・海外展開が進む一方、開業率の低下や工場立地件数の伸び悩みも見られる。今後は、デジタル技術活用による生産性向上、スタートアップ支援の強化、事業承継の円滑化、県産品の国内外販路拡大を一体的に推進し、地域産業全体の持続的発展につなげることが重要である。

基本指標（成果指標）

	基準値 (H30年度)	前年 (R4年度)	最新値 (R5年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
浜通り地域等の 域内総生産(GDP) の伸び率(平成 22年度対比)	12.3%	3.8%	17%	全国と 同等以上 (計画策定時 の推計 19% 程度)	全国と 同等以上 (推計25% 程度)	R3年度以降、浜通り地域等15市町村の域内総生産伸び率は全国平均(21.6%)を下回っており、復興需要に依存していた建設業の縮小が主因となっている。課題は、新規企業の呼び込みや地域定着、サプライチェーン構築などが挙げられる。今後は、県内全域での地元企業のイノベ構想参画や企業間連携を促進し、裾野の広い産業集積による好循環の確立を目指す。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度

5／8

前年度 5／8

※ 見込みを含む

- <達成(見込み含む)した基本指標>
- 福島イノベーション・コースト構想の重点分野における事業化件数 最新値:149件(R7) 目標値:137件(R7)
 - 浜通り地域等の製造品出荷額等 最新値: 16,833億円(R5) 目標値:16,782億円(R7)
 - メードインふくしまロボットの件数 最新値:75件(R7) 目標値:72件(R7)
 - 廃炉関連産業への参入支援による成約件数 最新値:1,991件(R7) 目標値:1,200件(R7)
 - 復興知事業で構築したプログラムの地元小中高生現地参加者数 最新値:23,589人(R7) 目標値:10,000人(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度

14／20

前年度 14／20

- チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業【達成】メードインふくしまロボット件数 75件【決算額】 4億4,034万円
- イノベ地域における交流・関係人口拡大推進事業【達成】事業への参加人数 4,752人【決算額】 1億3,531万円
- スタートアップ創出事業【未達成】年度あたりのツアー参加者(数)累計 44人【決算額】 1,087万円
- 福島イノベ構想推進産業人材確保事業【未達成】イノベ関連施設及び企業見学の参加者数 1,647人【決算額】 2,760万円

etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

政策を取り巻く状況

施策1 福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業集積・振興

基本指標の達成度 3／4
事業の達成度 5／7
紐づく事業 福島イノベーション・コースト構想推進事業、チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業など

施策2 あらゆるチャレンジが可能な地域の実現に向けた取組の推進

基本指標の達成度 0／1
事業の達成度 4／6
紐づく事業：スタートアップ創出事業、イノベーション創出プラットフォーム事業など

施策3 地域の企業が主役となる取組の推進

基本指標の達成度 1／1
事業の達成度 2／2
紐づく事業 廃炉関連産業集積基盤構築事業、「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業など

施策4 福島イノベーション・コースト構想を支える人材育成の推進

基本指標の達成度 1／2
事業の達成度 3／5
紐づく事業 福島イノベ構想推進産業人材確保事業、福島国際研究教育機構連携推進事業など

※「事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

福島イノベーション・コースト構想の推進において、廃炉・ロボット・航空宇宙・エネルギー等の重点分野で産業集積や人材育成が着実に進んでいる。一方、アウトカム指標の未達成事業が多く、構想の認知度向上や地元企業・進出企業間のマッチング強化が引き続き課題である。今後は、F-REIとの連携深化、スタートアップの定着支援、地域の実情に応じたきめ細やかな取組を通じ、浜通り地域等の自立的・持続的な産業復興を加速させる必要がある。

基本指標（成果指標）

	基準値	前年	最新値	目標値 (R7年)	目標値 (R12年)	政策に紐づく指標の達成度を 踏まえた全体評価
農業産出額	2,086億円 (R元)	2,163億円 (R5)	2,874億円 (R6)	2,226億円	2,400億円	農業産出額はR6年に震災前水準を初めて超えたものの、主因は米価高騰であり構造的回復ではない。沿岸漁業生産額は震災前の47.5%に留まり、もも・牛肉価格も全国平均を下回る状況が続いている。林業産出額はR6年に前年比2.8%減。 風評による価格低迷の解消、担い手確保・育成が共通課題。農業はブランド力強化と園芸・高収益作物への転換、漁業は操業拡大と販路回復、林業はきのこ生産支援と木材供給体制強化を推進していく。
林業産出額	106億円 (R元)	133.5億円 (R5)	129.7億円 (R6)	131億円	152億円	
沿岸漁業生産額(再掲)	21億円 (R2)	36億円 (R6)	44億円 (R7)	45億円	100億円	
県産農産物価格の回復状況(米)(再掲) ※ 県産農産物取引価格の全国平均価格に対する割合。震災前(H22)の割合を100*とした場合の、現在の水準。*震災前の米の全国平均価格に対する県産米価格の割合:98.40%	98.43% (R元)	98.73% (R5)	105.98% (R6)	100%	100%	
// (もも)(再掲) *震災前のももの全国平均価格に対する県産もも価格の割合	93.97% (R2)	93.68% (R6)	87.96% (R7)	100%	100%	
// (牛肉)(再掲) *震災前の牛肉の全国平均価格に対する県産牛肉価格の割合	90.58% (R2)	95.16% (R6)	96.91% (R7)	100%	100%	

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度

5/7

前年度 3/7

※ 見込みを含む

<達成(見込み含む)した基本指標>

- スマート農業技術等導入経営体数 最新値:1,255経営体(R7) 目標値:1,195経営体(R7)
- 新規就農者数 最新値:391人(R7) 目標値:375人(R7)
- ほ場整備率(%) 最新値: 76.4%(R7) 目標値:75.5% (R7)
- 県産農産物の輸出額(再掲) 最新値:476百万円(R6) 目標値:288百万円 (R7)
- 野生鳥獣による農作物の被害額(再掲) 最新値:150,630千円(R6) 目標値:155,418千円 (R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度

37/61

前年度 37/60

- ふくしま型農業DX推進事業 **【達成】** RTKシステム利用件数 185件 **【決算額】** 1億9,458万円
- 福島県産水産物競争力強化支援事業 **【達成】** MEL等認証審査及び認証取得支援対象数 28件 **【決算額】** 5億4,859万円
- 県育成オリジナル品種活用産地づくり支援事業 **【未達成】** ゆうやけベリー一作付面積 5.6ha **【決算額】** 7,226万円
- ふくしまの元気を創る地域産業6次化推進事業 **【未達成】** 6次化人材育成事業における卒塾生数 39人 **【決算額】** 5,040万円 etc

施策ごとの達成状況

施策1 農林水産業の多様な担い手の確保・育成

基本指標の達成度 1／1
事業の達成度 6／12
紐づく事業：新規就農者育成総合対策事業、
林業アカデミーふくしま運営事業など

施策2 生産基盤の確保と整備の推進

基本指標の達成度 1／1
事業の達成度 11／11
紐づく事業：かんがい排水事業他、
福島イノベ構想に基づく水産業先端技術展開事業など

施策3 需要を創出する流通・販路戦略の実践

基本指標の達成度 1／2
事業の達成度 9／11
紐づく事業：ふくしまの畜産復興対策事業、園芸グローバル産地育成強化事業など

施策4 戦略的な生産活動の展開

基本指標の達成度 1／1
事業の達成度 8／20
紐づく事業：県育成オリジナル品種活用産地づくり支援事業、
風評に打ち勝つ園芸産地競争力強化事業など

施策5 活力と魅力ある農山漁村の創生

基本指標の達成度 1／2
事業の達成度 3／7
紐づく事業：「いなかといいなか」農村関係人口創出事業、
ふくしまの元気を創る地域産業6次化推進事業など

※「事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

農林水産業では、東日本大震災・原子力災害からの復興を進める中、風評による価格低迷の解消や農業産出額の回復が共通課題となっている。スマート農業の推進や担い手確保・育成、ほ場整備による生産基盤強化が進む一方、農業者の高齢化・減少が深刻化している。また、GAP取得やブランド化、6次化による高付加価値化を推進しつつ、気候変動への対応も求められており、今後は、各産地の競争力強化と担い手育成を軸に、県産農産物の価格回復と産出額拡大を目指す取組の継続・加速がますます重要である。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R2年度)	前年 (R5年度)	最新値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
再生可能エネルギー導入量	43.4%	54.9%	59.7%	61.5%	70.0%	再生可能エネルギー導入量は毎年増加しており、令和6年度実績値は目標を達成した。令和7年度も大規模風力発電所の運転開始が予定され、さらなる上積みが見込まれる。一方、2030年度目標70%の達成に向けては、地域との共生、出力制御の抑制、固定価格買取制度に依存しない導入促進が課題である。今後は補助事業の着実な執行に加え、自家消費型再生可能エネルギーの普及や新規案件の組成を推進していく。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度

1/3

前年度 1/3

※ 見込みを含む

<達成(見込み含む)した基本指標>
● 再生可能エネルギー・水素関連産業の成約件数 最新値:323件(R7) 目標値:315件(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度

7/14

前年度 8/12

- 再エネ関連産業産学官連携・販路拡大促進事業 【達成】事業化伴走支援企業数 31件 【決算額】 2億6,393万円
 - 再生可能エネルギー地産地消支援事業 【達成】住宅用太陽光導入件数(累計) 69,935件 【決算額】 5億2,446万円
 - 脱炭素社会の実現に向けた水素利用推進事業【未達成】 定置式水素ステーション数 6基 【決算額】 8,522万円
 - カーボンニュートラル・水素関連産業推進事業 【未達成】 県内企業との共同研究数 1件 【決算額】 1,494万円
- etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 再生可能エネルギー等の更なる導入拡大と利用促進

事業の達成度 2／5

紐づく事業：再生可能エネルギー普及拡大事業、脱炭素社会の実現に向けた水素利用推進事業など

施策2 再生可能エネルギー・水素関連産業の育成・集積

基本指標の達成度 1／3

事業の達成度 4／7

紐づく事業：カーボンニュートラル・水素関連産業推進事業、福島水素サプライチェーン構築事業など

施策3 省エネルギー等の推進

事業の達成度 1／2

紐づく事業：エコ・リサイクル製品普及拡大事業、エネルギー・環境・リサイクル関連産業推進事業など

※「事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

県内では再生可能エネルギーの導入が約60％に達する一方、再生可能エネルギー・水素関連産業の集積は道半ばである。大型プロジェクトへ参入できるような企業は固定化されつつあり、新規企業の発掘だけでなく、既参入企業の育成による県内プレーヤーの底上げが課題となっている。今後は、産学官連携による技術開発・人材育成を強化しつつ、水素サプライチェーンの構築やリサイクル関連産業における動静脈産業の連携を促進し、事業化・産業集積につなげていくことが重要である。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R2年度)	前年 (R5年度)	最新値 (R6年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
観光客入込数 (再掲)	36,191 千人	53,923 千人	57,573 千人	59,300 千人	68,700 千人	R6年はコロナ禍からの回復基調の継続やインバウンドの急回復、円安による国内旅行需要の増加などを背景に目標値を達成し、震災前・コロナ禍前を上回る水準まで回復した。一方、浜通り地域は他地域と比べ回復が遅れており、同地域への誘客強化が課題となっている。今後はホープツーリズムの推進や浜通り地域の誘客コンテンツの開発・磨き上げを通じ、交流人口の拡大を目指す。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度

3／6

前年度 5／6

- <達成(見込み含む)した基本指標>
- 福島県教育旅行学校数 最新値:6,732校(R6) 目標値:5,600校(R7)
 - MICE(国際的な会議等)件数 最新値:55件(R7) 目標値:40件(R7)
 - 外国人宿泊者数(再掲) 最新値:325,210人泊(R7) 目標値:319,000人泊(R7)

※ 見込みを含む

主な事業の達成状況

主な事業の達成度

19／27

前年度 19／28

- ホープツーリズム拡充等浜通り観光支援事業【達成】キャンプ施設の受入環境支援 6施設 【決算額】 1億6,420万円
- 教育旅行復興事業【達成】キャラバンの実施回数 434件 【決算額】 3億442万円
- 観光関連団体連携推進事業【未達成】HP「ふくしまの旅」を活用した情報発信数 77件 【決算額】 8億5,285万円
- 福島インバウンド復興対策事業【未達成】市場別SNS等での情報発信回数 582回 【決算額】 3億4,470万円
etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 ふくしまの地域資源の磨き上げ及び魅力発信による誘客の拡大

基本指標の達成度 1／4

事業の達成度 10／14

紐づく事業：観光関連団体連携推進事業、教育旅行復興事業など

施策2 インバウンド促進に向けた観光の強化

基本指標の達成度 1／1

事業の達成度 4／5

紐づく事業：福島インバウンド復興対策事業、海外風評払拭情報発信事業など

施策3 多様なニーズに対応する観光地・受入環境づくりの推進

事業の達成度 2／3

紐づく事業：福島県観光誘客促進事業、福島インバウンド復興対策事業など

施策4 国際交流の推進

基本指標の達成度 1／1

事業の達成度 3／5

紐づく事業：県内大学と海外大学との交流に関する取組、国際協力・国際貢献に関する取組など

※「事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

震災・原発事故による根強い風評払拭と風化防止を最重要課題として、インバウンド誘客やホープツーリズム推進、ウルトラマン・ポケモン等のコンテンツ活用、ローカル鉄道・グリーンツーリズムを通じた地域活性化など多角的な観光交流拡大に取り組んでいる。外国人宿泊者数は過去最高を更新する好調な伸びを見せる一方、浜通り地域の観光入込数は震災前比76％にとどまっている。令和8年度の「ふくしまデスティネーションキャンペーン(DC)」は、こうした課題を克服する絶好の機会として位置づけられており、DCを契機とした全県的な情報発信強化と誘客促進により、ターゲットを絞った効果的なプロモーション、個人・インバウンド旅行者への受入環境整備、地域資源を活かした滞在型・周遊型コンテンツの磨き上げを通じ、交流人口のさらなる拡大を目指す。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R2年度)	前年 (R6年度)	最新値 (R7年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
安定的な雇用者数 (雇用保険の被保険者数)	580,442 人	554,899 人	547,555 人	581,000 人	581,000 人	県内の雇用保険被保険者数は、生産年齢人口の減少と比較して減少率は小さいものの、毎年約1%の減少が続いている。主な課題は若者の県外流出で、給与水準の低さや希望職種・企業の不足が県内就職を妨げている。今後は小中学生への職業体験や県内企業の魅力発信、早期離職防止の取組を通じ、若者の県内定着・還流促進を図っていく。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
2/5
前年度 2/5

- <達成(見込み含む)した基本指標>
- 離職者等再就職訓練修了者の就職率 最新値:77.2%(R6) 目標値:75%以上(R7)
 - 福島県次世代育成支援企業認証数 最新値:1,453件(R7) 目標値:1,232件(R7)

※ 見込みを含む

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
16/27
前年度 10/19

- 『感動！ふくしま』魅力ある職場づくり促進事業 【達成】 福島県次世代育成支援企業認証数 1,453件 【決算額】 9,066万円
- 女性活躍・働く世代の健康づくり推進事業 【達成】 健康づくりの取組への奨励金の交付件数(累年) 592件 【決算額】 7,159万円
- 『感動！ふくしま』プロジェクト 【未達成】 転職サイトと連携した公開求人への申込数 28件 【決算額】 4億7,695万円
- 建設DX推進事業 【未達成】 電子納品保管管理システムへの成果登録率 28.8% 【決算額】 6,596万円 etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 県内経済を支える人材の確保・育成

基本指標の達成度 1/4

事業の達成度 11/17

紐づく事業:『感動! ふくしま』プロジェクト、ものづくり技能継承支援事業など

施策2 誰もが安心して働ける雇用環境の整備

基本指標の達成度 1/1

事業の達成度 2/5

紐づく事業:『感動! ふくしま』魅力ある職場づくり促進事業、デジタル技術を活用したものづくり企業のスマート化支援事業など

施策3 女性が活躍できる社会の実現

事業の達成度 3/5

紐づく事業:女性活躍・働く世代の健康づくり推進事業、女性活躍オフィス立地促進事業など

※「事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である(再掲を含む)。

達成度を踏まえた課題分析

県内の安定した雇用に向けて、高校生・大学生等への就職支援や奨学金返還支援、高齢者・障がい者・女性など多様な人材の活用促進が共通した課題として挙げられている。一方で、若年層の県外流出や建設業・製造業等の担い手不足、企業のDX対応の遅れが深刻であり、ICT人材育成や航空宇宙・医療機器分野など成長産業への人材供給も急務となっている。今後は企業と求職者のマッチング強化、継続的な職業訓練、魅力発信の充実を通じて、若者の県内定着と産業競争力の向上を一体的に推進していくことが重要である。

基本指標（成果指標）

	基準値 (R2年度)	前年 (R6年度)	最新値 (R7年度)	目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	政策に紐づく指標の達成度を踏まえた全体評価
七つの地域の主要都市間の平均所要時間	86分	85分	85分	84分	82分	高速道路等の整備進展によりR6は目標値を達成したものの、R7以降は目標未達成の見込み。湯野上バイパスのトンネル工事における掘削土に重金属が確認されたことから、受入先の準備に時間を要しており、整備の更なる遅延が懸念される。今後は、隣接する県事業でのトンネル掘削土の受入れ等、国と連携して課題解決を図り、早期供用を目指す。

基本指標（施策）の達成状況

基本指標達成度
1/6
前年度 2/6

※ 見込みを含む

<達成(見込み含む)した基本指標>
● 福島空港利用者数 最新値:281千人(R7) 目標値:263千人(R7)

主な事業の達成状況

主な事業の達成度
2/8
前年度 5/10

- 相馬港港湾改修事業 【達成】防波堤整備事業の進捗率 39% 【決算額】 1億8,800万円
- 福島空港利活用促進対策事業 【達成】旅行会社の送客、修学旅行に対する支援数 174件 【決算額】 5,552万円
- 国際定期路線等開設・再開事業 【未達成】国際チャーター便運航本数 219便 【決算額】 5億910万円
- 地域連携道路等整備事業 【未達成】観光地へのアクセス道路の整備率 71% 【決算額】 68億6,994万円 etc

※「主な事業の達成度」は、取組に紐づく重点事業等のうち、アウトプット指標を達成した事業の割合である。

施策ごとの達成状況

施策1 基盤となる道路ネットワークの整備

基本指標の達成度 0／1
事業の達成度 0／4
紐づく事業：会津縦貫道整備事業、地域連携道路等整備事業 など

施策2 港湾の整備促進や福島空港の利活用促進による国際競争力を持った物流拠点等の形成

基本指標の達成度 1／4
事業の達成度 2／4
紐づく事業：相馬港港湾改修事業、福島空港利活用促進対策事業 など

施策3 情報基盤の充実による住みやすい環境づくり

基本指標の達成度 0／1
紐づく事業：条件不利地域における携帯電話のエリア整備に関する取組

※「事業の達成度」は、取組に紐付く重点事業等のうち、アウトプット指標を設定し、達成した事業の割合である（再掲を含む）。

達成度を踏まえた課題分析

避難解除区域の復興支援や広域ネットワーク強化を目的とした道路整備では、用地交渉の長期化や現場条件の変更による工程遅延が共通課題となっており、綿密な工程管理と計画的な事業推進が求められている。福島空港では台湾チャーター便の通年運航や大阪・関西万博に合わせたプロモーションなどにより、福島空港利用者数は震災・原発事故以降で最多となったが、原油高や円安等の要因により国内外の航空会社の経営状況は厳しい状況にあることから、定期路線の維持と新規路線の就航に向け、引き続き航空会社等への支援を継続していく必要がある。港湾については、貨物量増加に向けたポートセールスを継続し、定期航路の開設やユーザーの新規獲得に努める。ハード整備とソフト施策を組み合わせながら地域の持続的発展を目指していく。